



愛 汗 大 志

NANJO CITY

知中

aikantaishi

Vol. 13号
R7.07.14



Webサイト

◆ ステキな知念中学校をもっとステキな知念中学校へ！！

6月25日に、「一学期の振り返り」と「みんなで学校をさらによくすること」について校長講話を行いました。知念中のいい点と改善すべき点を考え、みんなが安心して楽しく過ごせる学校をつくっていくために、一人一人はどう行動すべきか？をみんなで考える機会としました。

一学期も残りわずかです。自分自身の一学期の学校生活を振り返り、しっかりと二学期につなげていきましょう。そして、知念中の一員として、みんなが楽しく学べる学校をつくっていきましょう！！

①

素直な明るい生徒が多い

生徒同士の仲がいい

人なつこい

知念中のいいところ！

部活や勉強を頑張る生徒が多い

優しい生徒が多い

②

知念中の課題って何だろう？

『割れ窓理論』①

アメリカの心理学者ウィルソンとケリングが考案

割れ窓理論とは「1枚の割れた窓が修理されずに放置されていると、その建物が誰にも注意されていないという象徴になり、やがてほかの窓も次々に割られてしまう。そして、ごみが捨てられ、やがて地域の環境が悪化して凶悪な犯罪が多発するようになる。」という犯罪理論です。

『割れ窓理論』②

かつては犯罪多発都市であったニューヨークでは、1994年以降、当時のジュリアーニ市長がこの理論を応用して、割られた窓などの修理や落書きなどの消去、軽微な犯罪の取り締まりを強化した結果、犯罪発生率が大幅に低下する結果となりました。

『割れ窓理論』③

身近な例として、学校において壁に貼られた掲示物のいたずらを放置しておく、そのうち掲示物は破られ、落書きが始まるようになると思います。その落書きを放置していると、教室・学内のモラルがどんどん低下し、そのうち学校の備品・建物が壊されたり、大きな問題が発生する可能性があります。

『ハインリッヒの法則』

1件の重大な事故は 300 件のヒヤリハットの積み重ねから起こる。

小さな問題（ヒヤリハット、軽微な事故）の原因を放置せずに改善（指導）することが、重大事態を防ぐことにつながります。

【ハインリッヒの法則】

1 重大な事故

29 軽微な事故

300 事故未遂（ヒヤリハット）

⑦

大事なことは！！

小さなルール違反、小さなイタズラ、小さな問題を見逃さずにしっかりと対処していくこと！！

➡ 大きな問題の未然防止になる

⑧

一人一人の行動は小さいかもしれませんが、みんなが行動を起こせば、大きな力となって、学校は変えていくことができます。

みんなの手で、ステキな知念中をつくっていきましょう